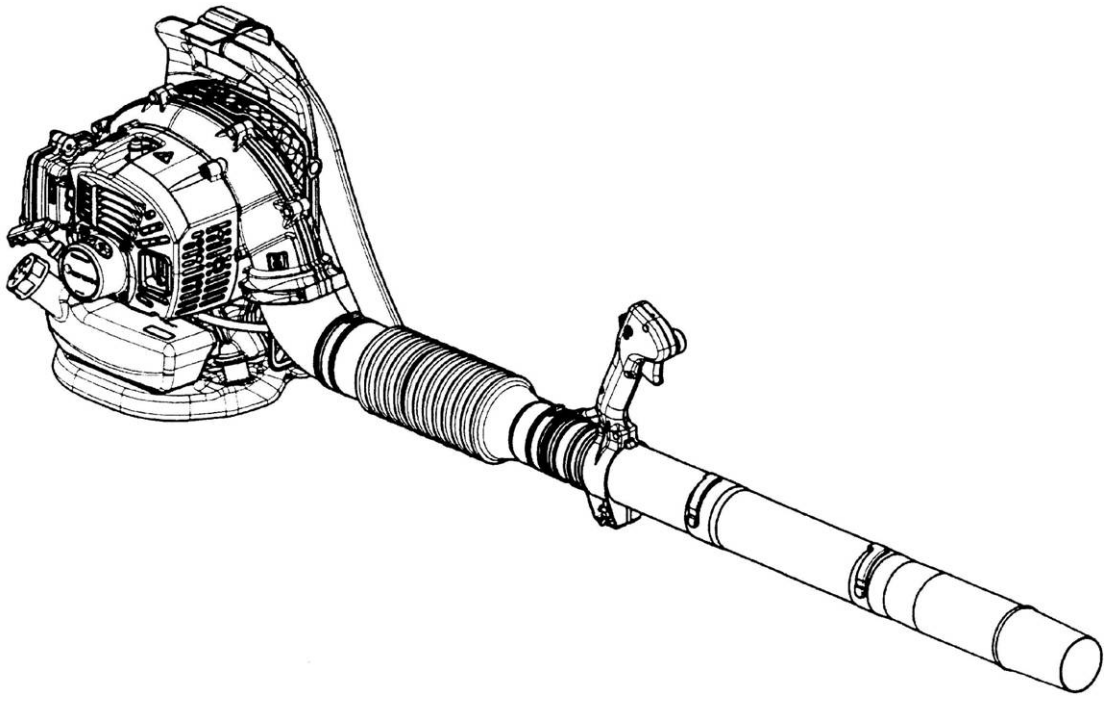
848-L2A-93A0 (E2/A1105)

ZENOAH®

ゼノアブロワ 取扱説明書

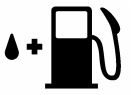
EBZ3000RH



⚠ 注意	● 製品をお使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。 ● 取扱説明書は大切に保管してください。

操作装置のシンボルマーク

運転操作および保守管理のために、操作装置のシンボルマークが使用されています。
これらの表示に従って**誤操作のないよう**ご注意ください。

マーク表示部位	図　柄	意　　味
燃料タンクキャップ		使用燃料の種別が「混合ガソリン」であることを表わします。
エ ア ク リ ー ナ		このマークの方向にレバーを操作するとチョークが閉じることを示します。
		このマークの方向にレバーを操作するとチョークが開くことを示します。

はじめに

このたびはゼノア製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。

ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買い上げの製品が優れた性能を発揮し、かつ快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。

また、お読みになった後必ず大切に保存し、分からないことがあった時には取り出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

⚠安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた ⚠ の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

■注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

⚠ 危険	： 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
⚠ 警告	： 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠ 注意	： 注意事項を守らないと、けがを負う恐れがあるものを示します。
重要	： 注意事項を守らないと機械の損傷や故障の恐れがあるものを示します。
補足	： その他、使用上役立つ補足説明を示します。

目　　次

⚠ 正しくお使いいただくために……1

警告ラベルとその取扱い……4

サービスと保証について……5

各部の名称……6

組立

ブロワパイプの取り付け……7

スロットルケーブルの取り付け……7

燃料……8

給油……9

エンジンのかけかた……10

エンジンのとめかた……11

使用方法……12

点検整備

定期点検……13

エアクリーナ……13

燃料フィルタ……14

スパークプラグ……14

エンジンの調整……15

マフラ……15

100時間使用毎の手入れ……16

吸気網……16

背負いバンドの取り付け……17

長期保管時の手入れ……18

製品主要諸元……19

⚠ 正しくお使いいただくために

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み理解した上で正しく取扱ってください。快適に作業をするため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも本文の中で「⚠ 警告サイン」として説明のつど取り上げております。

■ 製品をお使いになる前に

●このブロワは屋外の落ち葉や散乱したゴミ屑等の吹き寄せ清掃を主要途として設計されています。不測の事故を招く恐れがありますので本来の用途以外の目的には使用しないでください。

●本製品は高速で吹き出す風力を利用するため、操作を誤ると危険です。疲労などで体調が悪い場合や、カゼ薬服用時、飲酒後など、正常な判断と的確な操作が出来ない恐れがある場合は、本製品を使用しないでください。また、本書の内容が理解できない人や子供には絶対に使わせないでください。

●エンジンの排気ガスには人体に有害な一酸化炭素が含まれています。屋内やビニールハウス、トンネル内など、通気の悪い場所では本製品を使用しないでください。

●次のような場合はお使いにならないでください。

① 転倒の恐れがあるなど、製品の正常な保持・操作が困難な場合
② 霧や夜間など、視界が悪く作業現場周辺の安全確認が困難な場合
③ 天候悪化時（降雨、強風、雷など）
④作業中吹き飛ばされたゴミで周囲の人や物に危害を及ぼす恐れがある場合

●初めてお使いになる場合は、実作業に入る前に熟練者から製品の取扱い指導を受けるか、周囲に危険物のない広場等で練習し、操作に慣れてから本格作業に入るようにしてください。

●疲労が重なると注意力が低下し、事故の原因となります。作業計画にはゆとりを持たせ、1回の連続作業時間は30～40分を限度とし、10～20分の休憩を取ってください。また、1日の作業時間は2時間以内としてください。

●この取扱説明書は必ず保管して、分らないことがあった場合など必要に応じてご参照ください。

●小さいお子様の手の届くところに保管しないでください。

●本製品を譲渡または貸与する際は、この取扱説明書を必ず添付してください。

正しくお使いいただくために

■ 作業時の服装・装備

●ブロワをお使いになる際は、屋外作業にふさわしい服装を整え、作業帽、手袋、作業靴を着用してください。また、作業時の粉塵や運転音から身体を守るため、防塵メガネ（ゴーグル）、耳栓（イヤマフ）、防塵マスクをお使いになるようお勧めします。危険ですので裾じまりの悪い衣服や裸足、サンダル、草履ばきでの作業はしないでください。

■ 運搬時の注意事項

●運搬中の衝撃で燃料や薬剤が漏れ出す恐れがありますので、タンクに薬剤や燃料を入れたまま運搬しないでください。

●車両で運搬する時は、機体を立ててロープなどで荷台に確実に固定してください。危険ですので自転車やバイクでの運搬はしないでください。

●長髪は回転物に巻き込まれないように、肩より上でまとめてください。

■ 燃料に関する注意事項

●本製品のエンジンは、引火しやすいガソリンを含む「混合ガソリン」を燃料としています。
焼却炉、バーナー、たき火、かまど、電気スパーク、溶接火花など、引火の恐れがある場所では、燃料の補給をしたり燃料容器を保管したりしないでください。

●くわえタバコでの作業や燃料補給は危険です。絶対にしないでください。

●使用中に給油する場合は、必ずエンジンを停止し、周囲に火気がないことを確かめてから燃料を補給してください。

●給油時に燃料がこぼれた場合は、エンジンをかける前に、機体に付着した燃料を完全にふき取ってください。

●給油後は、燃料容器を密閉し、燃料タンクのキャップを確実に締めてから、3ｍ以上離れた場所でエンジンを始動してください。

正しくお使いいただくために

■ 使用時の注意事項

●エンジンをかける前に機体各部を点検し、ネジ類のゆるみやカバー類の破損、燃料漏れ、操作部の作動不良等の異常が発見された場合は使用を中止して完全に整備してください。

●作業前に現場内および周辺の状況をよく確かめ、作業区域内に人や車が進入する恐れがある場合は、適切な方法で立ち入り禁止措置を講じてください。また、区域内の傷つきやすい物は移動するか覆いをしてください。

●作業中は周囲の人と 10m 以上の距離を保ち、子供や動物は作業現場から遠ざけてください。

●不測の事故や火災の危険がありますので、エンジンをかけたままブロワの吹き出し口を周囲の人やタキ火、焼却炉、ストーブ、カマド等に絶対に向けないでください。

●作業の途中で休憩や燃料補給、機体の点検などをする場合は必ずエンジンを停止してください。

●電気ショックを受ける可能性がありますので、エンジン運転中はスパークプラグやコードに触れないでください。

●高温による火傷の恐れがありますので、エンジン運転中および停止直後はマフラやスパークプラグなどの金属部に素手で触れないでください。

■ 整備上の注意事項

●この取扱説明書では、製品の機能維持に必要な整備について説明しています。製品の機能を維持するため、定期的に本書記載の点検整備を実施してください。本書に記載されていない整備が必要な場合は、お買い上げ店または最寄りのゼノア製品取扱店にご相談ください。

●製品の改造や分解等はしないでください。運転中に機体が破損したり、正常な操作が出来なくなる危険があります。

●点検整備時は、必ずエンジンを停止してください。

●送風機の吸気網を取り外して運転しないでください。高速回転する送風ファンに触れる恐れがあり非常に危険です。

●送風機やエンジンの分解・改造等はしないでください。運転中に機体が破損し、重大な事故を招く危険があります。

●エンジン停止直後は、素手でマフラやスパークプラグに触れないでください。
高温のため火傷の危険があります。

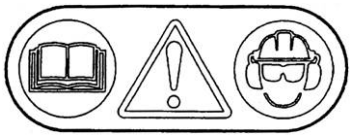
● 交換用部品はゼノア純正品またはゼノア指定銘柄品を使用してください。

正しくお使いいただくために

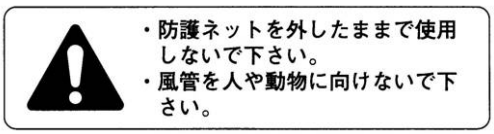
■ 警告ラベルとその取扱い

本機には次の警告ラベルが貼ってあります。よくお読みになって理解した上で作業してください。

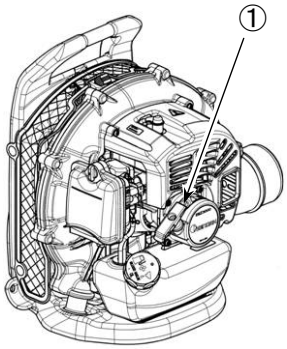
① 品番 848-8X1-0030

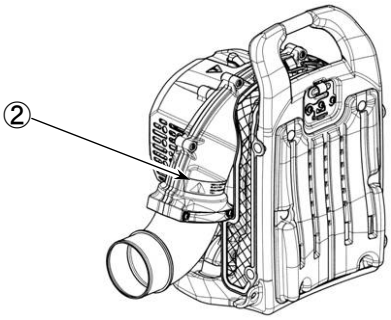


② 品番 T4052-32610



【貼付位置】





【ラベルのメンテナンス】

（1） 警告ラベルは、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。

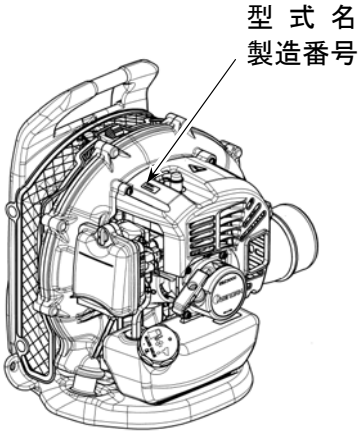
（2） 警告ラベルが汚損したりはがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。

（3） 新しいラベルを貼る場合は汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

サービスと保証について

ご相談窓口

本製品に関するお問い合わせや消耗品のお求め、サービスのご用命は、お買い上げいただいた販売店で承ります。
お問い合わせの際は型式名と製造番号（下図参照）をご連絡ください。
製品・技術・その他に関してお気付きの点やご意見等ありましたらお気軽に弊社営業窓口（裏表紙記載）にお寄せください。



保証書について

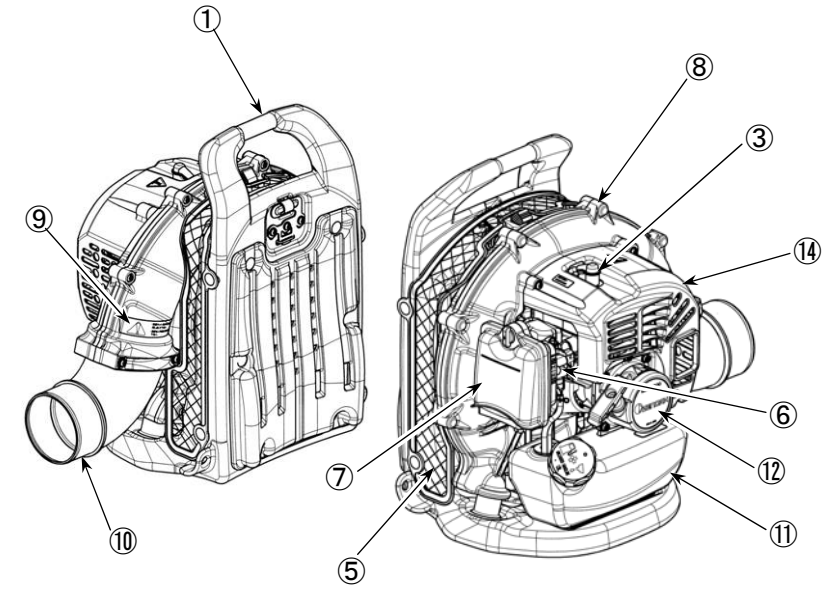
本製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日・型式名・製造番号」の記入押印をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保管してください。

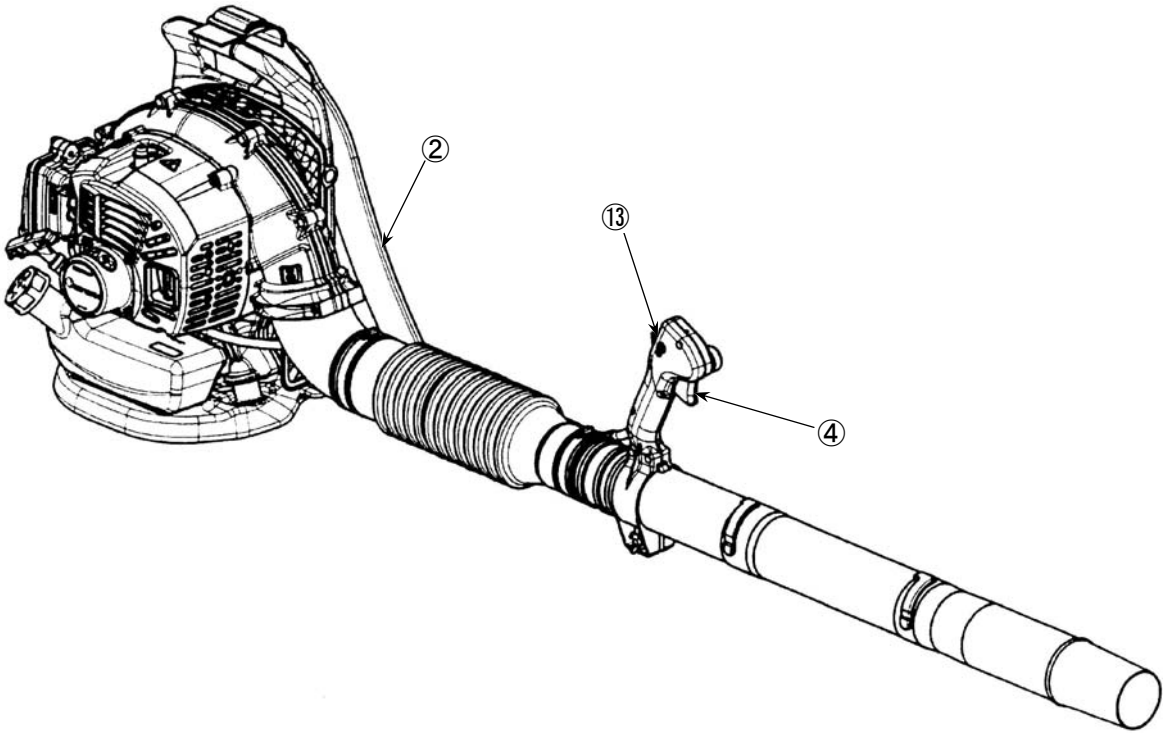
補給部品の供給年限について

本製品の補修部品の供給年限は、製造打切後８年です。
ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

⚠警告	機械の改造は危険ですので、改造しないでください。 改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。

各　部　の　名　称



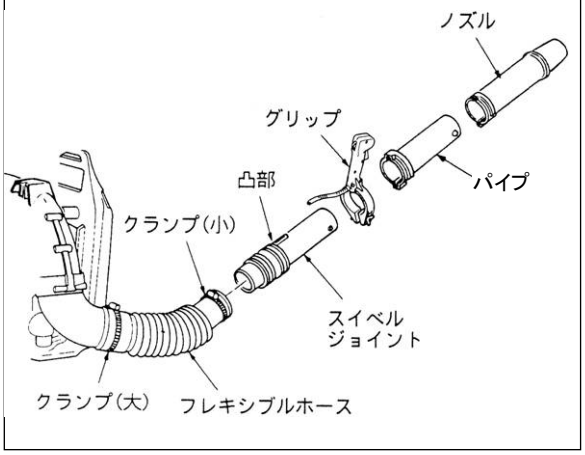


1. フレーム
2. 背負いバンド
3. プラグキャップ
4. スロットルレバー
5. 吸気網
6. チョークレバー
7. エアクリーナ
8. ボリュートケース
9. コーションラベル
10. エルボ
11. 燃料タンク
12. リコイルスタータ
13. エンジンスイッチ
14. エンジンカバー

組　　立

■ ブロワパイプの取り付け

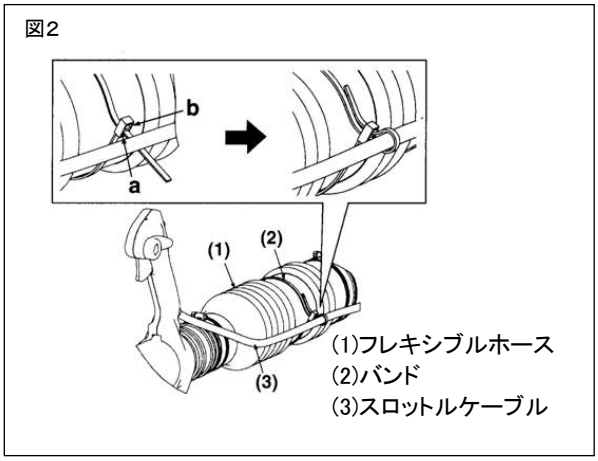
図1



1. 付属のフレキシブルホースの大径側にクランプ（大）をはめてから、ホースを送風機のエルボ部に取り付け、クランプを確実に締め付けてください。
2. スイベルジョイントにグリップをはめ、クランプとスクリュで固定してください。
3. スイベルジョイントにパイプ、ノズルの順で取り付けてください。
4. フレキシブルホースの小径側にクランプ（小）をはめてからスイベルジョイントをフレキシブルホースに差し込み、クランプを確実に締め付けてください。

■ スロットルケーブルの取り付け

図2



1. 最初に、ホースの中央付近でバンドの穴(a)を通し軽く締めてください。スロットルケーブルを共締めしないように気をつけてください。

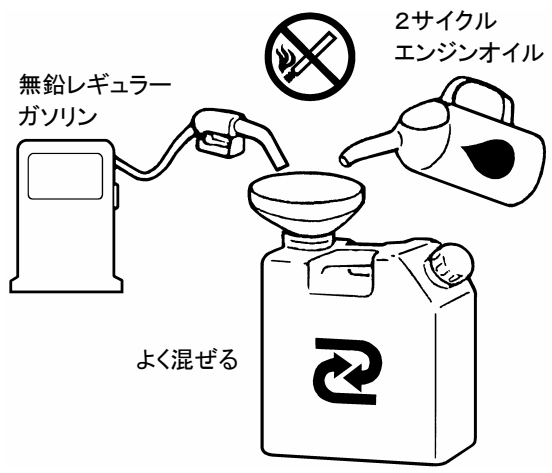
2. 次に、バンドの先端を穴(b)に通してスロットルケーブルを軽く締めてください。

燃　　料

⚠ 危 険	● 燃料は非常に引火しやすいため取り扱いを誤ると火災事故の原因となります。また、気化した燃料は爆発して死傷事故を起こす恐れがあります。 ● 燃料の混合時は必ず火気を遠ざけ、タバコは吸わないでください。 ● 作業中に燃料を補給する場合は給油前に必ずエンジンを停止してください。 ● 燃料の入った容器を、たき火やバーナーなどの火気の近くに放置しないでください。

重 要	● オイルが混合されていないガソリン（生ガソリン）を使うとエンジンが焼き付きます。給油時は燃料が正しいか確かめてください。 ● 燃料は紫外線や高温に長時間さらされると変質劣化し、始動不良や出力不足などの原因になります。混合した燃料は、30日以内を目安に使い切るようにしてください。 ● 水が混入した燃料を使うと、キャブレタやエンジンの内部が腐食します。機体や燃料容器に水がかからないようにしてください。 ● 4サイクルエンジン用オイルや水冷2サイクルエンジン用オイルは使わないでください。スパークプラグ汚損やピストンリング固着、マフラ詰まりなどを起こしやすくなります。

図3



燃料は、自動車用無鉛ガソリンと空冷２サイクルエンジン用オイルを下記割合で混合容器に入れ、容器を振ってよく混ぜ合わせたものを使用してください。

〔混合比〕

□ゼノア純正2サイクルオイル（FD級）使用時

……50：1

（ガソリン１Ｌに対しオイル20mL）

□ゼノア純正2サイクルオイル（FC級）使用時

……40：1

（ガソリン１Ｌに対しオイル25mL）

給　　油

⚠ 危 険	● 燃料タンクへの給油は屋外の平坦な場所で行ってください。 給油時は火気を遠ざけタバコは消してください。 ● 作業の途中で給油する場合は、必ずエンジンを停止し、冷えてから行ってください。 ● 燃料キャップは確実に締め付けてください。 ● 給油時にこぼれた燃料はエンジンを始動する前に布でよくふき取ってください。

重 要	燃料タンクへの給油量は、8分目を目安にしてください。 燃料を入れ過ぎると、運転時にタンクキャップから燃料がもれる恐れがあります。

1. 給油する機体を屋外の平坦な場所に置き、安定させてください。
2. 燃料タンクのキャップを少しゆるめ、燃料タンク内と外部の気圧差を取り除いてください。
3. 燃料タンクのキャップを取り外し、8分目を目安に少しずつ給油してください。
4. 給油が終わったらタンクキャップを確実に締め付けて、燃料漏れのないことを確認してください。

― ゼノア純正　ビッグバンガソリン ―

ゼノア純正混合ガソリン「ビッグバンガソリン」は、運転休止期間の長いエンジン機器用に開発された2サイクルエンジン専用の混合燃料です。

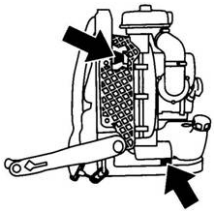
◎変質しにくい特殊ガソリンの採用でキャブ詰まり追放
◎エンジン内部を摩耗や汚れから守り、排気をきれいにする各種添加剤配合
◎混合の手間不要
◎給油・持ち運び・保管に便利な金属容器入り

などのすぐれた特長を持っており、運転休止の直前にお使いになるだけで運転再開時のエンジントラブル予防効果を発揮します。

詳しくはお買い上げ店にお問い合わせください。

エンジンのかけかた

⚠ 注 意	●始動と同時にノズルから強い風が吹き出しますので、エンジン始動時はノズルの前方に人がいないことを確かめてください。 ●防振ゴムやスプリングにクラックなどのダメージがないことを確認してください。ダメージが見つかった場合は部品を交換してください。これらの部品が壊れると作業中にエンジンがフレームからはずれて落下し、怪我をする恐れがあります。



重 要	●運転時はフレキシブルホースを送風機に接続してからエンジンをかけてください。ホースを付けずに運転を続けるとエンジンの冷却風が不足してピストン焼き付きなどの故障を招くことがあります。 ●エンジンをかける前に、ボリュートケースや吸気網の内側に異物がないことを確認してください。異物があるとファンやボリュートケースの破損につながり、重大な怪我を負う恐れがあります。

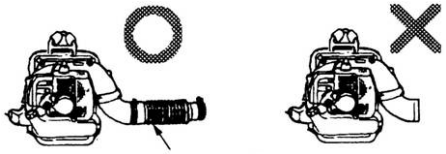


図4

図5

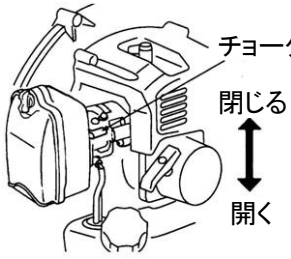
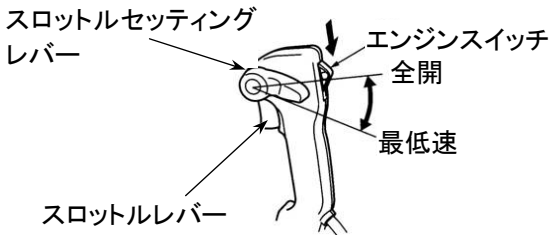


図6



1. 燃料タンクに燃料を入れキャップをしっかり閉めてください。
2. 燃料が透明パイプを通ってタンクに戻り始めるまで、始動ポンプを指で押して離す操作を繰り返してください。

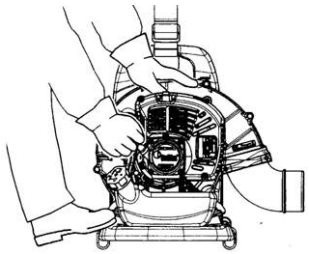
補足 タンクに燃料が残っている状態でエンジン停止直後に再始動する場合にはポンプ操作は必要ありません。

3. チョークレバー上げて「閉」の位置にセットしてください。

補足 エンジン停止直後に再始動する場合はチョーク開いたままスタータロープを引いてください。

4. エンジンスイッチを始動位置にセットしてください。
5. スロットルレバーを最低速位置にセットしてください。

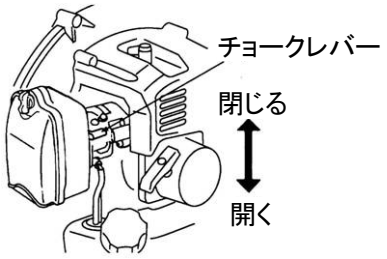
図7



機体を安定させてから左手でボリュートを押さえ、右手でスタータノブを引いてください。スタータノブを始めは軽く引き出し、重くなったら力をこめて素早く引いてください。

重要 **スタータ故障の原因となりますので、ロープを一気に全部引き出したり、ノブから手を離して戻したりしないでください。**

図8



6. エンジンが始動したらチョークレバーを徐々に下げて２～3分低速で暖機運転してください。

重要 **チョークレバーを「閉」にしたままロープを引き続けるとスパークプラグが濡れてエンジンがかからなくことがあります。このような場合は、チョークレバーを引いてからスタータロープを繰り返し引くか、スパークプラグをいったん取り外して電極を乾かしてから操作をやり直してください。**

エンジンのとめかた

⚠ 注 意	● 緊急時は直ちにエンジンの停止操作をしてください。 ● エンジン停止直後はマフラやスパークプラグに素手で触れないでください。 高温のため火傷の危険があります。

図9

1. スロットルレバーを「最低速」位置にして１～２分間冷却運転をしてください。

2. エンジンスイッチを停止位置にセットしてください。

使　用　方　法

⚠ 注 意	●道路や広場、駐車場など、人や車の往来がある場所で作業する時は、作業区域の周囲を保安バリケードで囲むなどの事故防止措置を講じてください。 ●ハシゴや屋根など、安定した姿勢の確保が困難な場所では使用しないでください。 ●吹き飛ばされたゴミで傷ついたり、風で倒れて破損したりする恐れのある物はあらかじめ移動するか、適切な覆いをしてください。

図10

●背負いバンドは、ブロワ本体を背負ったとき作業しやすい長さに調整してください。

●風力は、現場の条件に合わせてスロットルレバーで適切な強さに調節しながら作業してください。

●ゴミを一箇所に集める場合は、地形や風向きを考え、上方から下方へ、風上から風下へ、を基本に作業経路を設定してください。

点　検　整　備

⚠ 注 意	● 点検整備時は必ずエンジンを停止してください。 ● 送風機やエンジンの分解、改造等はしないでください。 ● マフラの整備が必要な場合は、販売店にご相談ください。整備方法を誤ると運転中に高温の排気ガスが吹き出す危険があります。 ● 部品交換時はゼノア純正部品または指定品を使用してください。

■ 定期点検

下記の使用時間毎に点検を行ってください。

点　検　整　備　項　目	使　用　時　間				備　　考
	日常点検	25時間	50時間	100時間	
エアクリーナエレメントの清掃	○				
燃料漏れの確認	○				
燃料フィルタの点検		○			
スパークプラグの清掃と調整		○			スキマ 0.6～0.7mm
マフラの点検とカーボン落とし				○	
スパークアレスタの清掃			○		
マフラボルトの増締め.	○				
エンジン各部の増締め.				○	
シリンダフィンのゴミ除去		○			

■ エアクリーナ

図11

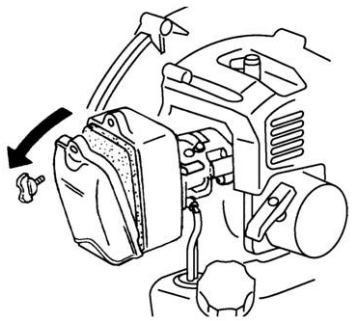
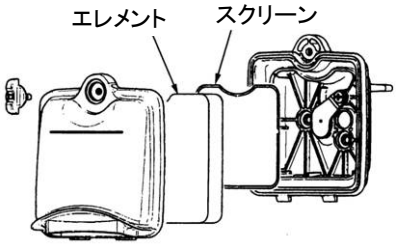


図12



1日の作業が終わったら、エアクリーナカバーを取り外してエレメントの汚れ具合を点検し、汚れがひどい場合は、中性洗剤入りの温湯でていねいに洗い、よく乾燥させてから元通り取り付けてください。
エレメントが変形・破損した場合は新品と交換してください。

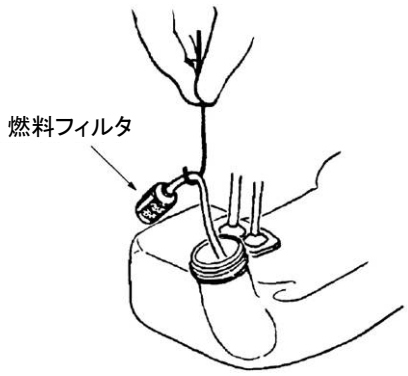
重要1 エアクリーナエレメントが詰まるとエンジン性能が低下します。また、エレメントをはずして運転したり、変形・破損したエレメントを付けて運転し続けるとエンジン内部が異常摩耗します。

重要 2 エアクリーナカバーを取り付けた後、手で軽く動かしてはずれないことを確かめてください。取付が不完全ですと使用中にカバーがは外れてエレメントが脱落、紛失することがあります。

補足 エレメントを組み付け時にスクリーンの付け忘れに注意してください。スクリーンを付け忘れるとクリーナのシール性が悪化し、シリンダ内にゴミが侵入しやすくなります。

■ 燃料フィルタ

図13



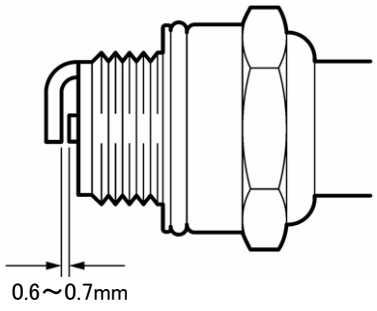
使用２５時間毎を目安に燃料タンクから燃料フィルタを取り出して点検し、付着したゴミを取り除いてください。
フィルタが目詰まりしている場合は新品と交換してください。（品番：3302－85400）
燃料フィルタをタンクに戻す際は燃料パイプが折れ曲がらないように注意してください。

重要 **燃料フィルタが詰まったり燃料パイプが折れ曲がっていると、エンジン回転数が上がらなかったり回転変動を起こしたりします。**

■ スパークプラグ

⚠ 注 意	**エンジン停止直後はスパークプラグに素手で触れないでください。高温のため火傷の危険があります。**

図14



使用２５時間毎を目安にスパークプラグを取り外して電極の汚れをワイヤブラシなどで取り除いてください。
電極隙間は、0.6～0.7㎜が適当です。
プラグ交換時は指定品をお使いください。

指定スパークプラグ	ＮＧＫ　CMR7H

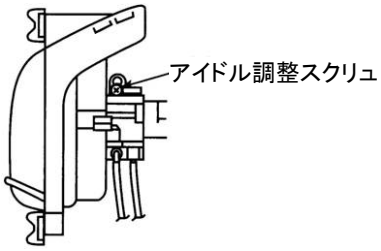
重要 **燃料を吸い込みすぎたりオイルの質が悪かったりするとスパークプラグの電極が汚れ、エンジンがかかりにくくなることがあります。**

■ エンジンの調整

エンジンは工場出荷時に調整されていますが、運転条件の変化（エンジンのなじみ、高地使用等）により再調整が必要と思われる場合は、以下の手順で調整してください。調整しても改善しない場合は他の原因が考えられますのでお買い上げ店にご相談ください。

アイドル調整スクリュ

図15



運転中スロットルレバーを完全に下げた位置にしたとき、エンジンが止まってしまったり、逆にエンジン回転が高過ぎるような場合は、アイドル調整スクリュを再調整してください。

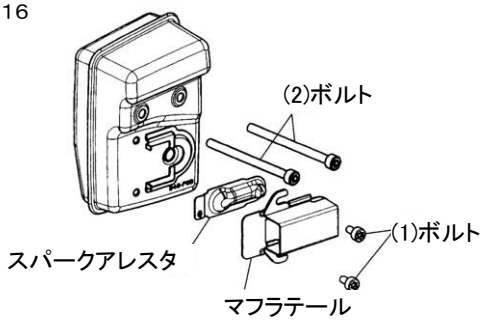
【調整方法】

エンジンをかけ、2～3 分中速で暖機運転した後、スロットルレバーを完全に下げた位置にしてからアイドル調整スクリュをマイナスドライバで回してください。

スクリュを右に回すとエンジン回転が上がり、左に回すとエンジン回転が下がります。

■ マフラ

図16



定期的にマフラを点検し、止めねじのゆるみ、損傷、錆の有無を確認してください。排気ガス漏れが見つかったときは、本ブロワ（送風機）の使用をやめ、直ちに修理の依頼をしてください。

重要 **始動開始前には必ず、マフラが 4 本のボルトでシリンダにしっかり取り付けられていることを確認してください。**

(1)ボルト
締め付けトルク　2～3N･m (20～30kg･cm)

(2)ボルト
締め付けトルク 7～11N･m(70～110kg･cm)

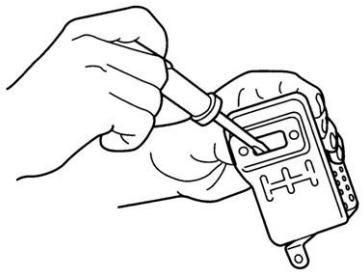
締め付けが不完全な場合、運転中にマフラがゆるみ、エンジン火災の原因になることがあります。

スパークアレスタ

焼けたカーボンがマフラテールから排出されるのを防ぐためにスパークアレスタが装着されています。ワイヤブラシなどで定期的に清掃し、カーボンを取り除いてください。

■ 100時間使用毎の手入れ

図 17

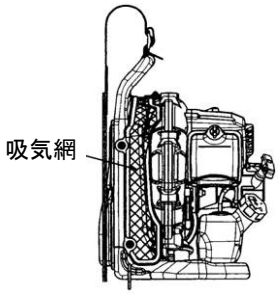


1. マフラを外して、排気口にドライバを入れてカーボンを落してください。同時にマフラ出口のカーボンも落してください。
2. 各締め付け部の増締めを行なってください。

■ 吸気網

⚠ 危 険	**吸気網をはずしたままは絶対にブロワを使わないでください。始動前には吸気網が正しく取り付けられ、損傷していないことを確認してください。**

図18

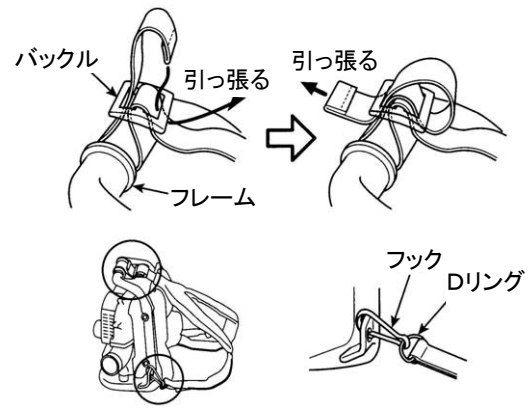


●送風用の空気は吸気網を通じて取り入れられます。使用中に送風量が減ったときは、エンジンを止め、吸気網がごみなどで目詰まりしていないか点検してください。

●こうしたごみをそのままにしておくと、エンジンが過熱して損傷する恐れがあります。

■背負いバンドの取り付け

図19



背負いバンドが傷んでいると、使用中に切れてブロワ本体が落下し、怪我をする恐れがあります。以下の手順で背負いバンドを交換してください。

1. 背負いバンド上部をフレームの上部溝にかけてから、図１９のようにバックルに通し、しっかり止めてください。
2. 背負いバンド下部のフックをフレーム下部のバンド取り付け部にはめてください。

重要 **プラスチック部品を固定しているネジ類には液状のゆるみ止め接着剤を使用しないでください。接着剤はプラスチック類にひび割れを生じさせ、破損につながる恐れがあります。**

■ 長期保管時の手入れ

⚠ 危 険	引火による火災の恐れがあります。 ● 燃料抜き取り時は、火気を遠ざけてください。 ● 燃料をこぼさないように注意し、こぼれた燃料は完全にふき取ってください。

⚠ 注 意	保管する場合は下記の点に注意してください。 ● 屋外放置を避けること。 ● 夏場の高温になる車内への放置を避けること。 ● 子供の手の届かない場所を選ぶこと。

重 要	● 長期間（2ヵ月以上）使用しない場合は、燃料タンクとキャブレタから燃料を抜いてください。燃料を入れたまま長期間放置すると燃料が変質してキャブレタ内部が詰まり、エンジン故障（始動不良や出力不足）の原因となります。 ● 保管時は、燃料タンクのキャップをゆるめにしてください。強く締め過ぎると経時変化によりパッキンが変形することがあります。

1. 機体の汚れを落としながら、各部の損傷やゆるみなどの有無を点検し、異常が発見された箇所は次回の使用に備え完全に整備してください。
2. 燃料タンクから燃料を抜き取ってください。
3. キャブレタの始動ポンプを燃料が出なくなるまで押して、配管通路内の燃料を燃料タンクに戻してください。
4. もう一度、燃料タンクから燃料を抜き取ってください。
5. エンジンをかけ、自然に止まるまで運転してください。
6. スパークプラグを取り外し、２サイクルオイルを１～２mL エンジン内に入れてください。スタータロープを２～３回引いてからプラグを元通り取り付け、圧縮位置で止めてください。
7. スロットルワイヤなどの金属部に防錆油を塗った後、屋内の火気や湿気のない場所に、シート等をかけて保管してください。

製 品 主 要 諸 元

名 称 ・型 式			ゼノアエンジンブロワ ・ EBZ3000RH
本 体 質 量 ※1		kg	6．2
本体外形寸法※1（全長×全幅×全高）		mm	313×394×420
燃 料 タ ン ク 容 量		L	1．08
送風機	使 用 回 転 数	rpm	3000～6500
	最 大 風 量	m^3/分	10．7
	最 大 風 速	m/秒	57．4
エンジン	形 式		単気筒空冷2サイクルガソリンエンジン
	排 気 量	cm^3	29．5
	使 用 燃 料		潤滑油混合ガソリン
	使 用 潤 滑 油		2サイクルエンジン専用オイル
	混 合 比		ゼノア純正オイル（FD 級）使用時 50：1 ゼノア純正オイル（FC級）使用時 40：1
	キ ャ ブ レ タ		ダイヤフラム、ロータリバルブ式
	点 火 方 式		電子制御フライホイルマグネト（CDI 方式）
	ス パ ー ク プ ラ グ		NGK CMR7H（電波障害防止型）
	始 動 方 式		リコイルスタータ式
	停 止 方 式		点火回路一次側短絡式（スライドスイッチ）

(※1）中間パイプ、ノズル、燃料を除く

(※2)パイプを取り外した状態の寸法

改良などにより商品の細部仕様が本書記載内容と異なることがあります。予めご了承ください。

ZENOAH®

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買い上げの販売店へお申し出ください。

製品・技術・その他のお問い合わせ

ハスクバーナ・ゼノア株式会社　国内営業本部

ナビダイヤル® **0570-084987**

月～金/9:00～17:00（土日祝、弊社指定休業日は除く）

http://www.zenoah.co.jp/

ハスクバーナ・ゼノア株式会社

本社：〒350-1165　埼玉県川越市南台1-9

（平成 23 年 5 月現在）

848-L2A-93A0（E2/A1105）PRINTED IN JAPAN